

平成25年度

坂町教育委員会事務点検・評価報告書

坂町教育委員会

目 次

教育委員会の点検・評価制度の概要	1
評価委員の点検・評価	2
教育委員会の活動状況及び活動概要	6
点検評価の結果	
「礼節」を重点化した道徳教育を推進する	1 1
確かな学力の向上を図る	1 2
不登校対策を充実する	1 3
外国語活動の充実を図る	1 4
町史の編さんに取り組む	1 5
学習機会の提供に努める	1 6
図書館の活用の増進に努める	1 7
生涯スポーツの普及に努める	1 8
町民交流センターの開館準備	1 9
資料 1 平成 2 5 年度坂町教育委員会 経営計画	2 0
資料 2 平成 2 5 年度坂町教育委員会 自己評価表	2 2

教育委員会の点検・評価制度の概要

1 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条により、教育委員会は平成20年4月から毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、坂町教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 対象年度

平成25年度

3 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、坂町第4次長期総合計画（平成22年度～平成31年度）の基本計画に位置付けられている道徳心の高揚、教育環境の充実、生涯学習・スポーツの振興及び文化活動の振興の4事業で、平成25年度教育行政方針において、重要施策として位置付けて実施した8事業（別紙資料参照）について点検評価を実施しました。（別紙資料1・2参照）

4 点検評価の方法

点検評価にあたっては、評価指標等を設定し、次のとおり4段階の評価としました。（当該年度の目標値に実績値を照らして、4段階で評価する）

区分	内容
A	目標は十分達成された。
B	目標は達成された。
C	目標は達成できなかった。
D	目標は全く達成できなかった。

5. 評価委員の点検・評価

平成 22 年度から、坂町第 4 次長期総合計画に基づく中期経営目標のもと、それに対応する教育行政方針を短期経営目標として設定してきている。平成 25 年度においても、教育委員会事務点検・評価の重点化がより一層図られて、また、数値目標に基づく量的な指標による評価が徹底されている。点検・評価の対象項目は大きく「道德心の高揚」「教育環境の充実」「文化活動の振興」及び「生涯学習・スポーツの振興」の 4 事業で、平成 25 年度教育行政方針において重要施策として位置付けて実施した 8 事業について実施され、教育委員会が重点的に集中する施策がみてとれる。大きく 4 事業に分けて記述していきたい。

(1) 「道德心の高揚」について

「道德心の高揚・『礼節』を基本とした教育の推進」では、昨年度の指摘を踏まえ、指標として道德実践に係る項目（「人が困っているときに、進んで助ける」「時と場に応じた言葉遣いをしている」）を追加設定し、「道德の時間が好き」との 3 項目の平均値で評価している。平成 24 年度の実績値を踏まえて平成 25 年度の目標値を設定し、校種による評価結果に差異はあるものの、「道德の時間が好き」における割合の低下が値を下げ、小学校で目標値に達していないとの自己評価である。その点では、学校の教育活動全体を通じて取り組む道德教育の補充・深化・統合を図る「道德の時間」の取組についての改善は今後においても求められるであろう。しかしながら、道德実践に関する 2 項目において児童生徒の肯定的な回答割合は高く、評価結果「C」ではあるが、坂町の児童生徒に確実に道德心が育ってきていると考えられる。平成 24 年度に引き続き、文部科学省「平成 25 年度小・中・高等学校道德教育実践研究事業」を実施され、坂町独自の有効な手立ての特定・集中すべき取組について取り組まれた結果と評価できる。なお、学校における取組とともに、家庭や地域を巻き込むことも視野に入れた取組を教育委員会として進めて欲しいと期待した点では、坂町道德教育推進協議会を主体とする小・中連携を意図した教職員研修を充実させる改善策に、引き続き、大いに期待したい。

(2) 「教育環境の充実」について

「教育活動の充実」では、「確かな学力の向上」と「いじめ・不登校対策の充実」の 2 事業を重点にしている。「確かな学力の向上」では「目標は十分に達成された」の自己評価結果であり、「いじめ・不登校対策の充実」では「目標は達成された」との自己評価結果である。昨年度までの点検・評価において、「確かな学力の向上」の評価指標は年度によって特定される場所であり、年度対象児童生徒に特有の傾向ではなく、学力向上の取組施策の反映された成果であるのか検証を積み重ねていただきたい旨を指摘した。平成 25 年度の成績結果は、とりわけすぐれた結果を得ており、その点で、小中連携による授業改善の取組や家庭との連携による主体的な学習への児童生徒の取り組み姿勢の指導支援に、引き続き邁進して欲しい。

一方、「いじめ・不登校対策の充実」では昨年度に比して不登校児童生徒の割合は増加しているものの、生徒指導の三機能を生かした取組・方策は取られており、今後も、小中連携などの取組も含め、効果的であった取組・対策の検証を進めていただきたい。昨年に

においても指摘したところであるが、単年度の結果に一喜一憂することなく、これまで指摘してきたように、上述の検証によって、継続すべき取組や改革・改善すべき取組を明らかにし、今後の取組施策を展望してそれに係る財政的な裏付けを確保できるよう、首長部局により一層積極的にアピールしていただきたい。

「国際理解教育の推進」では、平成 22 年度から小学校の外国語活動で平成 24 年度からは中学校外国語科でも日本人講師と担任との TT による取組を実施し、平成 25 年度においても英語に堪能な外国語指導助手と担任による TT の取組を実施しており、「目標は十分に達成された」との自己評価結果である。昨年度の指摘に応えて、評価指標には「外国語の時間が好き」の割合に加え、「授業がよくわかる」「外国の人と話したい」の項目を加えた 3 項目において、その肯定的な回答割合の平均値を取り入れている。その点で目標値の設定が低かったかもしれないが、「外国語の時間が好き」の肯定的割合は中学校では大きく昨年度の実績値を上回っている。

また、「外国の人と話したい」の肯定的割合には注目できるところであり、国際理解教育の推進という目標を追求してきた成果と考えたい。その点でも、昨年度も指摘したように、小学校「外国語活動の充実」が中学校での教科「外国語（英語）」への接続にどのような効果をもたらすかの検証に、坂町独自の取組として提案していただけるよう、引き続き学校現場を支援する施策展開に期待したい。

(3) 「文化活動の振興」について

「地域文化の保存、継承」では、平成 24 年度に「町史の編さん」が完結したことを受け、昨年度の点検・評価のコメントにおいて、その活用方法への視点、すなわち、地域文化の保存と継承を図る町史を町民の生涯学習の資源として豊かな財産と捉える視点に着目して、今後の事業展開への期待を指摘したところである。評価指標は、町史販売数であり、目標値を約 1 割上回る冊数を販売し「目標は十分達成された」との自己評価結果である。しかしながら、この今後販売等を通じての普及も重要と考えられるものの、これまでも指摘してきたところであるが、地域文化の保存と継承を図る町史を町民の生涯学習の資源としていくことが重要ではないか。その点では、平成 25 年度に実施された講演や講座等開催の取組・方策を評価したい。今後においても、町史を財産として、学校教育・生涯学習に活用するとともに、生涯学習においては坂町内ばかりでなく、坂町外へもアピールしていくよう、今後の事業展開を大いに期待したい。なお、評価指標にも、講演や講座等の開催による町史の普及・活用を図った結果として、例えば「坂町の歴史・生活・文化に関する関心・意欲・態度の増進調査」など、講演・講座を活用した生涯学習者の学習成果を測定することなども検討していただきたい。

(4) 「生涯学習・スポーツの振興」について

「生涯学習の推進・学習機会の提供」では、平成 25 年度からは「新規自主グループの設立団体数」を評価指標として、学習機会の提供に努め開催講座の自主グループ化を図って行くことに重点を置いて、3 団体の設立を得て目標を達成している。昨年度に指摘したように、申込人数が定員に達しなくて中止となる講座が、計画された成人対象講座 49 講座中 11 講座存在したが、平成 25 年度でも計画された成人対象講座 58 講座中 10 講座存在

している。その点を考えると、自主グループの設立は、生涯学習者であることを町民自らが宣言するものであり、開催講座における学習ニーズとのミスマッチや広報の不足などを解消していく上で有用と考えることができる。なお、開催講座の計画的実施に、引き続き図書館の図書等の利用内容について考察や PTA 等関係機関の協力を得て実施を計画されている意向調査等を通じて住民の意見を反映させるなど、講座企画の精緻化を図っていただくとともに、住民参加型の講座運営についても検討して欲しい。おって、平成 23・24 年度では「講座参加者の関心・意欲・態度の増進調査」の結果を評価指標としており、目標値を超える成果を得て「目標は十分達成できた」との自己評価は妥当と評価できたところであるが、この事業の評価指標として「講座参加者の関心・意欲・態度の増進調査」の結果の活用も考慮していただきたい。

また、「生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実・図書館の活用の増進」では、取組の充実による量的整備や取組・方策の充実が窺われ、図書等貸出利用者数とその増加率を評価指標にして「目標は十分達成された」との自己評価結果である。「図書館の活用の充実」のアウトプットとしての増加率アップのためでなく、今後においても、「親しみやすい図書館」の質的整備の充実に一層努めていただきたい。昨年度も指摘したのであるが、その点で、引き続き取り組まれている図書館こどもまつりの開催や読書ボランティアの活躍による読み聞かせの実施、継続的な「図書館便り」配布の取組の実施、子ども司書養成講座の実施など、質的整備に努めている点を大いに評価することができる。今後においても、より一層「図書館の活用の充実」を図り、その成果（アウトカム）として何を求めるのか町民に提示していただきたい。

また、明るい図書館の雰囲気作りに貢献している展示コーナーについては引き続き充実させていただきたい。なお、図書館の活動が図書館に留まるのではなく、「学習機会の提供」における「講座内容」と連携して図書館情報を提供するなど、生涯学習者へのサービスも引き続き検討していただきたい。おって、改善策としてあげている児童生徒の図書活動推進にあたっては、学校図書館とのネットワーク化を推進して、「学校教育」において重点的に取り組んでいる「道徳心の高揚」や「国際理解教育の推進」の事業と連携して展開していく視点からの点検評価についても考慮して欲しい。

「生涯スポーツの推進・生涯スポーツの普及」については、これまでの各種教室・大会参加者数に基づいた評価指標ではなく、昨年度の指摘に忠実に、「各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査」に基づくものとしている。坂町町民にとって、生涯スポーツの推進・普及がどのような点において寄与するのか、生涯スポーツへの参加者の日常生活が健康で豊かな潤いのあるものとした成果（アウトカム）を産出するものと考えられ、アンケート内容を精査して、今後も事業内容の充実に努めていただきたい。この新しい評価指標に基づき、平成 25 年度の自己評価結果は「目標は十分達成された」であり、町民がスポーツ活動を楽しめる場や機会の充実を図る取組・方策を、計画的・定期的実施していることも含め、評価できる。生涯スポーツの推進が、坂町の保健・医療・福祉など、他部局と結びつけて施策が展開されることを期待したい。

なお、以上の 8 事業に加えて、平成 25 年度の事務点検・評価報告書では、「町民交流センターの開館準備、開館へ向けての調整・整備の推進」についても報告されている。イベントの開催準備など、工事やソフト面のスケジュール管理の進捗状況は順調であったものの、備品等発注率を評価指標としていたため「目標は達成できなかった」との自己評価結果である。社会的経済的な要因も含め、教育委員会内部の調整のみならず町の他部局と

の調整もあると考えられ臨機応変な取組となって充実した開館準備となるよう、平成 26 年度の取組に期待したい。

以上、各項目に即して点検評価の結果に基づいて意見を述べた。最後に、報告書全般に関わって意見を述べ、今後期待したい点について指摘しておきたい。

平成 25 年度の自己評価にあたって、アウトカムとなりうる評価指標を工夫するなど、平成 24 年度の自己評価以上に点検評価に至ったエビデンス（証拠）を示すことに努められている。

また、その改善策を次年度の計画に反映させて実施に移すなど、確実に進展している。そして、いわゆる P D C A サイクルの実働に向け点検評価を通じて次にどのような手だてを打つのか、中期・短期の経営目標のもとに明確にするように努めており、説得力のある点検評価報告書と評価できる。今後もさらに、それらの点に尽力いただきたい。

また、点検評価の結果が、町民における学校教育・生涯学習の充実のために、より一層の改革・改善につながるためにも、次の点についても、引き続き一層の精緻化を図るように検討していただきたい。

第一は、多くの事業の評価指標で取り組まれてきているところであるが、事業展開を通じて得られた成果として、アウトプット（取組を確実に推進したという努力指標となる事業計画を遂行したという成果）に満足することなく、今後においてもより適切なアウトカム（取組を通じて、例えば、児童生徒の成長という目標を達成したという成果）を追求していただきたい。

第二に、評価に至ったエビデンス（証拠）に掲げる数値目標として、成果指標（アウトカム）としての視点からの設定についても点検し、今後においても一層の精緻化を図っていただきたい。勿論、数値目標に馴染まない目標もある。質的にどのように変容したのかを分析し、計画した事業の遂行のみに満足することなく、事業の目標に対して有効な施策であったかを検証するように期待したい。

第三に、教育委員会の事業が町の他部局の事業とどのように関連性をもって展開できるかについても今後検討して、町民の学校教育・生涯学習の推進に寄与できるか、取組・方策の充実に努めていただきたい。

最後に、説得力のある自己点検評価報告書であるためにも、昨年度に引き続き、次の点により一層期待をしたい。すなわち、第一に、坂町独自の特色をもつ事業施策について点検評価し、町民に積極的にアピールすることである。第二に、学校教育の充実については、設置者としての事業展開が学校現場による真摯な取組を通じて実現できることを踏まえ、設置者としての視点を明確にして、学校現場への支援を充実することである。坂町教育委員会事務局においては、そのような期待に応じていただき、首長部局に対して財政的な裏付けを確保して、教育委員会の事業展開における P D C A サイクルを実働させ、学校教育・生涯学習の主人公である学習者の支援に今後も引き続き努められることを一層期待したい。

評価委員
広島大学大学院教育学研究科
教授 林 孝

教育委員会の活動状況及び活動概要

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会委員

職名	性別	備考
委員長	男	元教育関係者
委員長職務代理者	男	自営業
委員	女	自営業
委員	女	保護者
教育長	男	元行政関係者

(2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 11回、臨時会 4回

(3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況

議案番号	議案名	議決日
7	坂町留守家庭児童会設置条例施行規則の一部改正について	4月3日
8	坂町社会教育委員の委嘱について	4月3日
9	平成25年度教職員研修の方針について	4月16日
10	平成24年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について	5月21日
11	平成25年度坂町教育委員会経営計画、平成25年度坂町教育委員会自己評価表について	5月21日
12	スポーツ推進委員の委嘱について	5月21日
13	坂町立小中学校プール管理運営に関する規則の全部改正について	8月27日
14	特別支援学級の教科書採択について	8月27日
15	坂町教育委員会委員長選挙に関する件について	11月20日
1	平成26年度坂町教育行政方針について	2月18日
2	平成26年度教職員人事について	3月12日
3	坂町いじめ防止基本方針の策定について	3月12日
4	坂町留守家庭児童会設置条例施行規則の一部を改正する規則について	3月18日
5	坂町史編さん専門員設置規則の廃止について	3月18日
6	坂町史編さんに関する規則の廃止について	3月18日
7	坂町立町民交流センター条例施行規則の制定について	3月18日
8	教育長の任命について	3月28日

9	坂町教育委員会の事務局の組織に関する規則について	3月28日
10	坂町町民センター規則の一部改正について	3月28日
11	坂町図書館管理運営規則の一部改正について	3月28日
12	坂町立図書館多目的閲覧室使用規則の廃止について	3月28日
13	坂町文化財保護委員の委嘱について	3月28日
14	坂町スポーツ推進委員の委嘱について	3月28日
15	坂町B&G海洋センター管理運営規則の全部改正について	3月28日

2 教育委員会活動の概要

(1) 各種会議への出席

会議名	出席者	月/日	場所
平成25年度第1回広島県市町教育長会議	教育長	4/15	広島市
平成25年度第1回安芸郡4町教育長会議	教育長	4/26	坂町
平成25年度第1回西部教育事務所管内教育長・部課長等会議	教育長 教育次長	5/2	呉市
平成25年度広島県市町教育委員会連合会定期総会	委員長	5/21	広島市
平成25年度第1回広島県町教育長会定期総会	教育長	5/24	広島市
全国市町村教育委員会連合会定期総会	委員長	5/24	東京都
全国町村教育長会定期総会並びに研究大会	教育長	5/30～31	東京都
広島県女性教育委員グループ総会並びに第1回研修会	委員	7/10	広島市
平成25年度第2回西部教育事務所管内教育長・部課長等会議	教育長	7/24	呉市
平成25年度第2回安芸郡4町教育長会議	教育長	7/24	呉市
平成25年度中国五県町村教育長研究大会	教育長	8/22～23	岡山市
広島県女性教育委員グループ第2回研修会	委員	11/6	竹原市
平成25年度広島県町教育長会研修会	教育長	11/15	熊野町
平成25年度市町教育委員会教育委員研修会	委員	11/14	広島市
平成25年度第3回西部教育事務所管内教育長・部課長等会議	教育長 教育次長	12/18	広島市
平成25年度広島県市町教育長会臨時会	教育長	1/6	広島市
平成25年度第3回安芸郡4町教育長会議	教育長	1/17	府中町
第2回広島県市町教育長会議	教育長	1/27	広島市
広島県女性教育委員グループ第3回研修会	委員	3/3	広島市

(2) 議案以外の報告・協議状況

月 日	定例会における報告・協議内容（主なもの）
4月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育「家庭はすべての教育の出発点」について ○ 坂町教育委員会事務局事務分掌について
4月 16日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校図書館の現状に関する調査」結果について ○ 平成24年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書（案）について ○ 平成25年度坂町教育委員会経営計画（案）、平成25年度坂町教育委員会自己評価表（案）について
5月 21日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度第1回広島県市町教育長会議及び西部教育事務所管内教育長、部・課長等合同会議について ○ 学校選択制について
6月 18日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国町村教育長会について ○ 6月議会定例会について ○ 全国市町村教育委員会連合会定期総会及び広島県市町教育委員会連合会定期総会について ○ 「平成25年度坂町の学校教育」について ○ 「平成25年度第1回教育長ミーティング」について ○ 第1回坂町教育フォーラムについて
7月 16日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年度管理職選考試験について ○ 「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめについて ○ 今後の学級編制推計について ○ B&G海洋センターの利用状況について ○ 平成25年度広島県女性教育委員グループ総会並びに第1回研修会の報告について ○ 通学路の交通安全の確保徹底について ○ 第2回坂町教育フォーラムについて
8月 27日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回坂町の教育を考える会について ○ 平成25年度第2回西部教育事務所管内教育長、部・課長等合同会議について ○ 平成26年度広島県公立学校教職員人事異動方針について ○ いじめ防止対策推進法について
9月 17日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度中国五県町村教育長研究大会について ○ 広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果について ○ 9月議会定例会について

10月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平成25年度第2回教育長ミーティング」について ○ 「全国学力・学習状況調査」及び「基礎・基本定着状況調査」について ○ 平成25年度坂町教育委員会経営計画の中間報告について ○ 教育委員視察研修について ○ 健やかな体の育成に係る先進地視察研修について
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県町教育長会研修会」について ○ 『土曜授業に関する検討チーム』最終まとめについて ○ 平成26年度坂町教育行政方針及び平成26年度坂町教育委員会経営計画について ○ 平成25年度広島県女性教育委員グループ第2回研修会について ○ 就学指導委員会の具申について
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画（仮称）」について ○ 平成26年度学級編制について ○ 12月議会定例会について ○ 平成26年度坂町教育行政方針及び平成26年度坂町教育委員会経営計画について ○ 平成26年坂町成人式挙行について
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不祥事根絶のための取組の徹底について ○ 第2回坂町の教育を考える会について ○ 平成25年度第3回西部教育事務所管内教育長、部・課長等合同会議について ○ 平成26年度坂町教育行政方針について
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度第2回広島県市町教育長会議について ○ 坂町いじめ防止基本方針の策定について ○ 就学指導の状況について
3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年度教育行政方針等について ○ 平成26年第2回坂町議会定例会で制定された関係条例について ○ 平成25年度広島県女性教育委員グループ第3回研修会について
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回坂町の教育を考える会について ○ 3月議会定例会について
3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会制度の改革に関する与党合意案について ○ 坂中学校卒業生の進路先について ○ 平成25年度末退職者等辞令伝達式及び平成26年度教職員辞令伝達式等について

(3) 教育委員の学校訪問

訪問日	訪問先	内 容
6月18日	坂中学校	○ 学校長による学校経営方針について ○ 授業参観及び意見交換
9月17日	坂小学校	○ 学校長による学校経営方針について ○ 授業参観及び意見交換
10月29日	小屋浦小学校	○ 学校長による学校経営方針について ○ 授業参観及び意見交換
12月17日	横浜小学校	○ 学校長による学校経営方針について ○ 授業参観及び意見交換
1月23日	坂中学校	○ 学校長による学校経営方針について ○ 授業参観及び意見交換

※その他、町内各校の教育研究会、運動会、文化祭、学習発表会等に参加。

(4) 教育委員の社会教育施設等視察

視察日	視察場所	内 容
4月16日	坂町立図書館	○ 施設見学 ○ 意見交換
7月16日	坂町B & G海洋センター	○ 施設見学 ○ 意見交換
8月27日	留守家庭児童会 (コミュニティーホールさか及び横浜ふれあいセンター)	○ 施設見学 ○ 意見交換

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	道徳心の高揚
短期経営目標	「礼節」を基本とした教育を推進する。

1 短期経営目標（具体）

家庭や地域との連携を充実させ、児童生徒の心に響く道徳教育を推進する。

2 取組・方策

- (1) 文部科学省「平成25年度小・中・高等学校道徳教育実践研究事業」の実施
平成24年度に引き続き、同事業の指定を受け、町内全小・中学校で「礼節」を身に付けさせるための「道徳の時間」の指導方法や資料の工夫、開発に取り組んだ。小中連携を強化するための推進体制を整備し、公開研究会を通して、成果の普及を図った。
- (2) 坂町道徳教育推進協議会の開催（年間8回）
各小・中学校の道徳教育推進教師及び担当校長を対象に、授業研究、指導資料作成、研修報告等を行い、指導力の向上に努めた。
- (3) 坂町教育フォーラムの開催（年間2回）
町内の全教員を対象に、坂町教育フォーラムを開催し、道徳の時間の授業づくりに係る研修を実施し、指導力の向上に努めた。
- (4) 道徳教育に関する児童生徒意識調査（年間2回実施）
全児童生徒を対象に道徳教育に関する意識調査を実施して、授業改善に努めた。

3 評価

評価指標	道徳の時間の児童生徒意識調査（3項目）
実績値（平成24年度）	88.0%
目標値（平成25年度）	90.0%
総合評価	C

肯定的に回答した児童・生徒の割合 3項目平均 87.9%（小学校）90.5%（中学校）

調査時期	道徳の時間が好き		人が困っているときは、進んで助ける		時と場に応じた言葉遣いをしている	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
5月	84.2	88.2	91.2	89.8	89.7	89.5
2月	84.3	83.0	91.0	92.2	88.4	96.2

中学校では目標を達成することができたが、小学校では（-2.1）届かなかった。

4 改善策

○小中学校連携を意図した研修を充実させるとともに、「坂町礼節週間」をはじめとする保護者や地域を巻き込んだ道徳教育の取組を進める。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	教育活動の充実
短期経営目標	確かな学力の向上を図る。

1 短期経営目標（具体）

- 学ぶ姿勢の礎を築き、家庭学習の習慣化を進める。
- 各種学力調査の実施及び結果の分析を通して、授業改善を行う。

2 取組・方策

- (1) 「礼節」を基本とする教育を進め、学ぶ姿勢の礎を築く。
「礼節」を道徳教育に限らず、生活全般で取り組み、落ち着きのある学習環境を作った。
- (2) 家庭学習の習慣化
家庭学習の手引きを作製し、全ての児童生徒、保護者に配布し活用を勧めた。
- (3) 学力調査の実施
各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に生かした。
- ①広島県「基礎・基本」定着状況調査（6月11日実施、対象：小学校5年の国・算・理、中学校2年の国・数・理・英）
- ②全国学力・学習状況調査（4月24日全校実施、対象：小学校6年の国・算・理、中学校3年の国・数）
- ③坂町標準学力調査（小学校 H26.1月、中学校 H24.4月、対象：全学年 小学校 国・算・理 中学校 国・社・数・理・英）
- (2) 小・中学校への非常勤講師（町費）の配置
小・中学校へ非常勤講師を配置し、基礎学力の向上に努めた。
- ・坂小学校 国語、算数（788）時間
 - ・中学校 英語（463）時間 ・数学（251）時間
- (3) 小・中学校において習熟度別学習やTT指導など指導方法の工夫改善を実施
指導方法工夫改善（県費）
- ・横浜小学校 対象学年4年～6年 算数 実施時間（878）時間／年間
 - ・坂中学校 対象学年1年～3年 英語 実施時間（717）時間／年間

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査
実績値（平成24年度）	小学校（国語）、中学校（英語）が県平均を下回った。
目標値（平成25年度）	小中とも全ての教科で県平均を上回る。
総合評価	A

平成25年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果（広島県教育委員会）

学年	国語	算数・数学	理科	英語
小学校5年	73.7（+3.6）	74.2（+4.4）	62.2（+0.9）	—
中学校2年	77.9（+6.2）	76.5（+7.5）	43.2（+3.3）	83.3（+11.2）

※（ ）は広島県平均との比較

小学校、中学校とも全ての教科で県平均を上回った。

4 改善策

- 全校で礼節を基本とする教育を推進し、児童生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。
- 坂町版「家庭学習の手引き」を活用し、小・中学校とも家庭学習の充実を図る。
- 小・中学校連携研修を進め、授業改善の取組を進める。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	教育活動の充実
短期経営目標	いじめ・不登校対策を充実する。

1 短期経営目標（具体）

- 生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進める。
- アンケートや個別面談など、児童生徒の実態把握を進め、早期発見、早期対応に努める。

2 取組・方策

- (1) 坂町生徒指導連絡協議会（毎月1回、計10回）
各小・中学校の生徒指導主事を対象に、理論研修、授業観察、実態交流等を行い、生徒指導方針を共通理解するとともに、指導力の向上を図り、生徒指導体制の機能化に努めた。
- (2) 児童生徒の欠席状況調査（月1回）
児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応を行うことにより未然防止に努めた。
- (3) いじめアンケートの実施（年3回／6月、9月、2月）
いじめアンケートを児童生徒、保護者に実施し、いじめの早期発見、早期対応に努めるとともに教育相談の充実を図った。
- (4) 指導主事による学校訪問指導（各校平均、月2～3回）
ケース会議など各学校の実態に合わせ、指導主事が各校を訪問し、児童生徒への指導や、保護者、関係機関との連携状況等に指導・助言を行う。
- (5) 教育相談による支援活動の充実
スクールカウンセラー、学校教職員、教育委員会事務局職員による教育相談を適時実施し、児童生徒、保護者の教育的ニーズの把握や指導助言を進めた。

3 評価

評価指標	未解決の件数（いじめ問題）、不登校の児童生徒数の割合
実績値（平成24年度）	未解決の件数（いじめ問題） 小学校0件、中学校0件 不登校の児童生徒数の割合 小学校0.37%、中学校1.80%
目標値（平成25年度）	未解決の件数（いじめ問題） 小学校0件、中学校0件 不登校の児童生徒数の割合 小学校0.25%、中学校1.50%
総合評価	B

平成25年度の未解決件数（いじめ問題）、不登校児童生徒数 全児童792名 全生徒345名

	未解決件数	不登校児童生徒数（割合）
小学校	0件	4人（0.51%）
中学校	0件	7人（2.03%）

※いじめの未解決事案は小・中学校ともなかった。不登校は小学校で増加した。

4 改善策

- 生徒指導の三機能を生かした授業づくりをさらに進め、積極的生徒指導による未然防止の取組の充実を図る。
- 欠席状況の細かな把握及びアンケートや面談、保護者連携等により児童生徒の状況把握を丁寧に行うとともに、ケース会議の実施など、学校、保護者、関係機関との連携を積極的に進め、問題への早期対応に努める。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	国際理解教育の推進
短期経営目標	外国語活動の充実を図る。

1 短期経営目標（具体）

<p>○英語に堪能な講師を活用し、ティーム・ティーチングにより児童生徒の関心、意欲を高める外国語活動・外国語科の授業を行う。</p> <p>○小・中連携を進め、中学校スタートカリキュラム及び指導の工夫、改善を進める。</p>
--

2 取組・方策

<p>(1) 坂町外国語活動研修会（年間2回開催）</p> <p>各小学校の外国語活動担当教師及び中学校の外国語担当教師を対象に、中学校第1学年の授業研究や指導者養成研修受講者による実践発表等を内容とする研修会を実施し、小中連携を進めるとともに、指導力の向上に努めた。</p> <p>(2) 外国語指導助手と担任による外国語活動の実施（年間35時間／学年）</p> <p>小学校5・6年の外国語活動の授業を、英語に堪能な外国語指導助手と担任によるTTで実施し、コミュニケーション能力の素地を養った。</p> <p>(3) 外国語指導助手と教科担当者による外国語科の実施（年間12時間／学年）</p> <p>中学校の外国語科の授業を、英語に堪能な外国語指導助手と教科担当者によるTTで実施し、コミュニケーション能力の基礎を養った。</p> <p>(3) 外国語活動・外国語科に関する児童意識調査（年間2回実施）</p> <p>小学校5・6年生、中学生を対象に外国語活動に関する意識調査を実施し、授業改善に努めた。</p>

3 評価

評価指標	外国語活動・外国語科に関する児童生徒の意識調査（3項目）
実績値（平成24年度）	98.3%（小学校）72.0%（中学校）
目標値（平成25年度）	80.0%（小学校）70.0%（中学校）項目追加
総合評価	A

肯定的に回答した児童の割合 3項目の平均 91.6%（小学校）84.2%（中学校）

調査時期	外国語の時間が好き		授業がよく分かる		外国の人と話したい	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
10月	96.2	77.1	92.3	89.0	73.5	79.0
2月	97.7	81.9	91.6	91.3	85.4	79.4

4 改善策

<p>○外国語活動担当教師の指導力向上のための研修（外国語活動研修）を更に充実させる。</p> <p>○小中連携を更に進め、中学校のスタートカリキュラム及び指導の工夫、改善を図る。</p>
--

平成25年度 点検評価表

中期経営目標	地域文化の保存、継承
短期経営目標	町史の普及・活用に取り組む。

1 短期経営目標（具体）

講演及び講座等の開催により普及・活用を図る。
 広報、ホームページの掲載等により情報発信の充実に努める。

2 取組・方策

- (1) 講座の開催について
- ・落合功氏（平成25年6月13日開催）生活文化編・通史編（近世～近代）
 内容：生活文化編と通史編（近世～近代）について 参加者29名
 - ・伊藤実氏（平成25年7月18日開催）通史編（考古） 参加者17名
 内容：坂町古代史の謎 ～植田古墳と海古墳～
 - ・松井輝昭氏（平成25年8月29日開催）通史編（中世） 参加者21名
 内容：市域史から見た野間氏の盛衰 ～なぜ栄え なぜ滅んだのか～
- (2) 広報掲載について
- ・発刊後は広報に掲載し、発刊を周知。
 生活文化編、通史（考古～近代）編（平成25年6月号）
 （内容・販売価格・販売先の紹介）
- (3) ホームページ掲載について
- ・発刊後はホームページに掲載し、発刊を周知。
 生活文化編、通史（考古～近代）編
 （内容・販売価格・販売先・申込方法・郵送方法の紹介）
- (4) 収集した資料の公開について
- ・編さん業務で収集した資料や写真を、町民などに閲覧・複写を可能とした。

3 評価

評価指標	町史販売数
実績値（平成24年度）	286冊
目標値（平成25年度）	560冊
総合評価	A
今年度、町史販売数は619冊であり、目標を達成した。	

4 改善策

- 今後においても広報、ホームページの掲載等により情報発信に努める。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	生涯学習の推進
短期経営目標	学習機会の提供に努める

1 短期経営目標（具体）

<p>講座の精選に努め、開催講座の自主グループ化を図る。 開催講座等、関係機関との連携を図り情報発信の充実に努め、住民への周知を図る。 新規自主グループの設立団体数 目標値 2 団体（年間）</p>
--

2 取組・方策

<p>(1) 開催講座の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人対象講座 58 講座を計画、48 講座開催。延べ 608 名参加。 ・家庭対象講座 27 講座開催。延べ 1,199 名参加。 <p>【成果と課題】</p> <p>成人対象講座では、町民のニーズにあった多種多様な講座を実施することができた。 家庭対象講座では、発達段階に応じた適切な家庭教育に関する講座を実施することができた。</p> <p>今後も、各地域の実情やニーズに応じて、民間等では提供されにくい分野の講座開設や子育ての拠点となる活動を積極的に行うなど、社会の要請に応じた学習活動の機会の量的・質的な充実に努める。</p> <p>(2) 学習機会の情報発信について</p> <p>開催講座の情報を坂町広報紙、ホームページに掲載し、ポスター、チラシを各ふれあいセンターや公民館等関係施設に掲示すると共に、関係団体に対してもこれを配布し情報発信に努めた。</p> <p>(3) 自主グループ設立について</p> <p>新規自主グループの設立団体数は3団体であった。 (パソコン同好会(夜間)、ガーデニングすみれ会、デジイチクラブ)</p> <p>【成果】</p> <p>知識・技能の習得を目指すのみでなく、活動を通じ、仲間づくり、生きがいくくり等を目的としたグループを設立することができた。</p>
--

3 評価

評価指標	新規自主グループの設立団体数
実績値 (平成24年度)	—
目標値 (平成25年度)	2 団体
総合評価	A

今年度、新規自主グループの設立団体数は3団体であり、目標を達成した。

4 改善策

<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後においても講座等の精選を図り、町民のニーズにあった企画立案に努める。 ○ 職員が学習プログラム開発に関する知識を習得できるよう、研修会等へ積極的に参加する。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実
短期経営目標	図書館の活用の増進に努める。

1 短期経営目標（具体）

誰もが気軽に利用できるよう利用者に応じた図書館サービスに努め、図書館の活用の推進を図る。

2 取組・方策

- (1) 図書司書を中心に図書購入10ヵ年計画に基づき図書整備を実施。
平成26年2月末現在蔵書数等
一般書 38,618冊(1,276冊)、児童書 20,257冊(1,053冊)、視聴覚資料 1,883点(62点)
※ () は今年度購入冊数等
- (2) 図書館こどもまつりの開催。
(ボランティアによる読み聞かせ、職場(図書サービス)体験、ミニ絵本づくり)
- (3) 子育てオープンスペース、子育て支援センター、保健センター等各関係施設及び町内の各保育所・園、小学校、中学校、高等学校に年代に応じた「図書館便り」を定期配信。
- (4) 定期的に読書ボランティアによる読みきかせを実施。(2回/月)
- (5) 新着図書等の展示コーナーや特別展示を定期的に開催。
- (6) 読書活動推進講座及び図書館利用講座の開催。
- (7) 子ども司書養成講座の開催。

3 評価

評価指標	図書等貸出利用者数
実績値(平成24年度)	20,563人 (H23対比1.59%増)
目標値(平成25年度)	20,974人 (H24実績値対比2%増)
総合評価	A

- 図書等貸出利用者数は、21,309人であり今年度の目標値を達成した。
- 図書館カード登録者数は、前年度と比較し減少傾向にある。
- 図書館こどもまつり・子ども司書養成講座・読書活動推進講座等を通じ、読書活動の推進が図られた。
- 図書等貸出利用者数は、今年度目標値を達成する見込みではあるが、これを継続し評価指標にすることについては、検討を要する。

4 改善策

- 図書館司書及び学校図書司書との連携により、計画的な図書の購入並びに館内展示の充実を図り図書環境の充実に努める。
- 広報、図書館だより等による図書情報の発信に努める。
- 各種講座、教室等魅力的な事業の企画立案に努める。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、こども読書活動推進のための施策を充実させる。
- 児童生徒の図書活動推進を図る。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	生涯スポーツの推進
短期経営目標	生涯スポーツの普及に努める。

1 短期経営目標（具体）

町民誰もがスポーツ活動を楽しめる場や機会の充実を図る。

2 取組・方策

- (1) 各種教室・大会を様々な方法で情報発信した。
 坂町広報誌への掲載 ・町内体育大会、体操教室、水泳教室の開催記載
 ・町内体育大会、体育協会各競技部の大会等各種大会結果掲載
 チラシの配付 ・体操教室、水泳教室の案内を保育所（園）、小学校を通じ配付
 ・町内各施設にて「ようよう坂町ウォーキング」のチラシ配付
 住民協への案内 ・町民会議球技大会、コミュニティースポーツ大会案内
- (2) 各年齢層に応じた各種事業を推進した。
 幼児対象 ・親子ふれあい体操教室・幼児体操教室
 小学生対象 ・1年生水泳教室・2、3年生水泳教室・スポーツキッズフェスティバル
 小中学生対象 ・シンクロナイズドスイミング教室
 全町民対象 ・町内体育大会・町民会議球技大会
- (3) 月イチようよう坂町ウォーキングを開催した。（教育委員会担当分）
 5月19日 坂・植田周遊ウォーク（坂→上条→植田→坂コース）
 6月 2日 ベイサイドビーチ坂見学ウォーク（ウォークベイサイド遊歩道コース）
 7月 6日 ナイトウォーク（森山ジョギングコース）
 12月15日 天神道ウォーク（坂駅→坂八幡神社→天神道→西林寺→坂駅）
- (4) 坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各種行事を開催した。
 町民会議球技大会（9月8日）、町内体育大会（10月6日）、スポーツキッズフェスティバル（12月8日）、町内駅伝競走大会・コミュニティースポーツ大会（3月16日）

3 評価

評価指標	各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査
実績値（平成24年度）	—
目標値（平成25年度）	70%
総合評価	A
<p>各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査においては、「関心・意欲が高まった」と回答した参加者は77%であった。</p> <p>今年度より評価指標を変更し、目標値を超えている状況にある。</p> <p>評価指標の根拠となるアンケート調査についてもアンケート内容を十分に精査し、本調査の精度を上げることにより参加者の健康増進の一助となるよう事業内容の充実に努めたい。</p>	

4 改善策

- アンケート内容を精査し事業内容の充実に努める。
- 友遊サタデーにおいて、対抗戦を企画するなど事業内容を工夫し、改善を図る。
- 体育協会各部へ低年齢層のスポーツ教室の実施要請を行い、各種スポーツの普及に努める。

平成25年度 点検評価票

中期経営目標	町民交流センターの開館準備
短期経営目標	開館へ向けての調整・整備を推進する。

1 短期経営目標（具体）

必要な備品等を計画的に整備し、開館に向けたスケジュール管理を適切に行う。

2 取組・方策

- (1) 坂町立町民交流センター条例及び同施行規則の制定
坂町立町民交流センターの設置及びその管理に関する事項並びに使用料を規定
- (2) 命名権契約の締結
愛称を「Sunstar Hall」とする命名権契約をサンスター(株)と締結
- (3) 備品のリストアップ
施設運営に必要な備品をリストアップし、価格、納期等を調査（平成26年度発注）
- (4) イベント開催準備
宝くじ助成事業の開催を申請 → 採択（宝くじまちの音楽会）
NHK 全国公開放送の開催を申請 → 採択（ラジオ ふるさと自慢うた自慢）
その他イベント開催の調整（広響&萩原麻未コンサート等）

3 評価

評価指標	備品等発注率
実績値（平成24年度）	—
目標値（平成25年度）	66%
総合評価	C

必要備品をリストアップし、納期等を確認した結果、平成26年度での発注が最適と思われるため、発注時期を変更した。

その他、工事及びソフト面のスケジュール管理は適切に行うことができた。

4 改善策

開館後の利用率向上のための施策をさらに検討する必要がある。

平成 25 年度坂町教育委員会 経営計画

I ミッション

坂町第 4 次長期総合計画、平成 25 年度町長施政方針及び平成 25 年度教育行政方針等にとり、教育行政を推進する。

II ビジョン

【町民像】

- 学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで、町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し、夢や希望・生きがいを持つ。

【教育委員会像】

- 高い志を持ち、学校教育やスポーツ・文化活動の振興などに尽力する。
- 報告・連絡・相談による組織的で迅速な対応を行う。
- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- PDCA のマネジメントサイクルによる業務遂行を行う。

III 現状分析

【学校教育】

- 子ども一人ひとりが自立した社会人となるよう、道徳性の育成に、学校・家庭・地域が一体となり取り組んでいる。児童生徒を対象とした道徳の時間に関する意識調査では、85%が「道徳の時間は好きだ」と肯定的に回答している。
- 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率は、小学校国語（-0.6）、中学校英語（-4.3）で、県平均を下回っている。
- 不登校児童生徒の割合は、小学校（0.37）が県平均と同程度、中学校は前年度から大きく減少している。（前年度比-3.64）
- 広島県「基礎・基本」定着状況調査では、中学校英語が県平均を大きく下回っている。（-4.3）引き続き、小学校外国語活動の指導方法を充実させるとともに、中学校外国語科への円滑な接続を図る必要がある。

【生涯学習】

- 講座参加者のアンケート結果において、関心・意欲・態度の高まりは、8割を超える肯定的な回答であった。一方、参加申込者数が定数に達しなかったため、11講座が中止となった。
- 図書等貸出利用者数は、微増しているが、図書館カードの普及率は低下している。
- 生涯スポーツの各種教室・大会への参加者数は、全体的には微減傾向にあるものの、大幅に増加した大会があった。
- 町史編さんについては、「生活文化編」及び「通史（考古～近代）編」を発刊した。

IV 目標及び取組

	中期経営目標 (第4次長期総合計画)		短期経営目標 (平成25年度 教育行政方針)	具体的な取組・方策
学校教育	道徳心の 高揚	道徳心の高揚	「礼節」を基本とした教育を推進する。	○家庭や地域との連携を充実させ、児童生徒の心に響く道徳教育を推進する。
	教育環境 の充実	教育活動の充実	確かな学力の向上を図る。	○学ぶ姿勢の礎を築き、家庭学習の習慣化を進める。 ○各種学力調査の実施及び結果の分析を通して、授業改善を行う。
			いじめ・不登校対策を充実する。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進める。 ○アンケートや個別面接など、児童生徒の実態把握を進め、早期発見、早期対応に努める。
		国際理解教育の推進	外国語活動等の充実を図る。	○英語に堪能な講師を活用し、T・Tにより児童生徒の関心、意欲を高める外国語活動、外国語科の授業を行う。 ○小・中連携を進め、中学校スタートカリキュラム及び指導の工夫、改善を進める。
生涯学習	文化活動の振興	地域文化の保存、継承	町史の普及・活用に取り組む。	○講演及び講座等の開催により普及・活用を図る。 ○広報、ホームページの掲載等により情報発信の充実に努める。
	生涯学習・スポーツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供に努める。	○講座企画の精選に努め、開催講座の自主グループ化を図る。 ○広報、ホームページ等への掲載及び関係機関との連携を図り情報発信の充実に努める。
		生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	図書館の活用の増進に努める。	○広報、ホームページ等により情報発信を行い、図書カード登録の普及・啓発を図る。 ○新着図書等の紹介コーナー、特別展示を設置すると共に読書推進講座、図書館利用講座を開催し、図書の活用促進を行う。 ○自由本棚の活用・普及啓発に努める。
		生涯スポーツの推進	生涯スポーツの普及に努める。	○各種教室への参加者に、内容・満足度等の以降調査を行い、多様化するニーズに反映させる。 ○坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各年齢層に応じた行事を開催すると共に、充実に努める。 ○産学官民連携でウォーキングに取り組む。
準備室	(仮称) 町民交流センターの開館準備	開館へ向けての調整・整備を推進する。	○必要な備品等を計画的に整備する。 ○開館に向けたスケジュール管理を適切に行う。	

平成 25 年度坂町教育委員会 自己評価表

	中期経営目標 (第 4 次長期総合計画)		短期経営目標 (平成 25 年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)		改善策
						平成 24 年度	平成 25 年度			
	道徳心の 高揚	道徳心の高揚	「礼節」を基本 とした教育を推 進する。	○家庭や地域との連携を充実させ、児童 生徒の心に響く道徳教育を推進する。	道徳の時間の児童 生徒意識調査 (平成 24 年度の評価 項目に 2 項目を追加)	88%	90%	C	(小) 87.9% (中) 90.5%	・「坂町礼節週間」における挨拶運動 など保護者や地域を巻き込んだ取 組の推進
学校教育	教育環境 の充実	教育活動の充実	確かな学力の向 上を図る。	○学ぶ姿勢の礎を築き、家庭学習の習慣 化を進める。 ○各種学力調査の実施及び結果の分析を 通して、授業改善を行う。	広島県「基礎・基 本」定着状況調査	小学校(国語) 中学校(英語) が県平均を下 回る。	全ての教科で 県平均を上回 る。	A	小中とも全ての教科で県 平均を上回る。(小) 国語 (+3.6)、算数(+4.4)、 理科(+0.9)・(中) 国語 (+6.2)、数学(+7.5)、 理科(+3.3) 英語(+11.2)	・児童生徒が主体的に学習に取り組 む姿勢を確立 ・坂町版「家庭学習の手引き」の活用 ・小・中連携を意識した授業改善
			いじめ・不登校 対策を充実す る。	○生徒指導の三機能を生かした授業づく りを進める。 ○アンケートや個別面接など、児童生徒 の実態把握を進め、早期発見、早期対 応に努める。	未解決の件数(いじめ 問題)	0 件	0 件	B	いじめ未解決 0 件 (現在特別な指導を必要 とする案件なし)	・積極的生徒指導の充実 ・学校、保護者、関係機関との連携の 強化
		国際理解教育の 推進	外国語活動等の 充実を図る。	○英語に堪能な講師を活用し、T・Tに より児童生徒の関心、意欲を高める外 国語活動、外国語科の授業を行う。 ○小・中連携を進め、中学校スタートカ リキュラム及び指導の工夫、改善を進 める。	外国語活動・外国 語科の児童生徒の 意識調査 (平成 24 年度の評価 項目に 2 項目を追加)	(小) 98.3% (中) 72.0%	(小) 80.0% (中) 70.0%	A	(小) 91.6% (中) 84.2%	・外国語活動研修の充実 ・小中連携による中学校スタートカ リキュラム及び指導の工夫、改善
生涯学習	文化活動 の振興	地域文化の保 存、継承	町史の普及・活 用に取り組む。	○講演及び講座等の開催により普及・活 用を図る。 ○広報、ホームページの掲載等により情 報発信の充実に努める。	町史販売数	286 冊	560 冊	A	619 冊販売	・広報、ホームページの掲載等による 情報発信
	生涯学習 ・スポー ツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供 に努める。	○講座企画の精選に努め、開催講座の自 主グループ化を図る。 ○広報、ホームページ等への掲載及び関 係機関との連携を図り情報発信の充実 に努める。	新規 自主グループ数	0	2 団体	A	3 団体設立	・講座等の精選を図り、町民のニーズ にあった企画立案
		生涯学習環境、 生涯学習推進体 制の充実	図書館の活用の 増進に努める。	○広報、ホームページ等により情報発信 を行い、図書カード登録の普及・啓発 を図る。 ○新着図書等の紹介コーナー、特別展示 を設置すると共に読書推進講座、図書 館利用講座を開催し、図書の活用促進 を行う。 ○自由本棚の活用・普及啓発に努める。	図書等貸出 利用者数	20,563 人	20,974 人 (H24 実績値 対比 2%増)	A	21,309 人	・計画的な図書の購入及び館内展示 の充実に図り図書環境の充実 ・広報、図書館だより等による図書情 報の発信 ・各種講座、教室等魅力的な事業の企 画立案
		生涯スポーツの 推進	生涯スポーツの 普及に努める。	○各種教室の参加者に、内容・満足度等 の意向調査を行い、多様化するニーズ に反映させる。 ○坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協 会等の協力のもと、各年齢層に応じた 行事を開催すると共に、充実に努める。 ○産学官民連携でウォーキングに取り組 む。	各種教室参加者へ のスポーツの関 心・意欲調査	—	70%	A	77.0%	・友遊サタデーにおいて、対抗戦を企 画するなど内容の工夫 ・体育協会各部へ低年齢層のスポー ツ教室の実施要請
準備室	町民交流センタ ーの開館準備	開館へ向けての 調整・整備を推 進する。	○必要な備品等を計画的に整備する。 ○開館に向けたスケジュール管理を適 切に行う。	備品等発注率	—	66%	C	0%	・備品等発注時期を平成 26 年度へ 先送り	

平成 26 年度坂町教育委員会 経営計画

I ミッション

坂町第 4 次長期総合計画、平成 26 年度町長施政方針及び平成 26 年度教育行政方針等にとり、「礼節」を基本とした教育行政を推進する。

II ビジョン

【町民像】

- 学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで、町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し、夢や希望・生きがいを持つ。

【教育委員会像】

- 高い志を持ち、学校教育やスポーツ・文化活動の振興などに尽力する。
- 報告・連絡・相談による組織的で迅速な対応を行う。
- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- PDCA のマネジメントサイクルによる業務遂行を行う。

III 現状分析

【学校教育】

- 子ども一人ひとりが自立した社会人となるよう、道徳性の育成に、学校・家庭・地域が一体となり取り組んでいる。児童生徒を対象とした意識調査では、「道徳の時間が好き」ほか道徳性に関する項目に、9 割近い児童生徒が肯定的に回答している。
- 平成 25 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率は、小学校、中学校ともに全ての教科で、県平均を上回っている。
- 平成 25 年度の不登校児童生徒は、小学校 4 人（前年度比+0.14）、中学校 7 人（前年度比+0.23）となっている。
- 平成 25 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査では、中学校英語が県平均を大きく上回った。（+11.2）また、小学校においても 9 割以上の児童が、「外国語活動の授業がよくわかる」と回答している。

【生涯学習】

- 町史の販売冊数については、「生活文化編」及び「通史（考古～近代）編」の発刊に伴い、各編ともに目標値を達成している。
- 各種講座の開催回数及び延べ参加人員については、概ね昨年度並みであり、指標である新規自主グループの設立団体数についても目標値を達成している。
- 図書等貸出利用者数は微増し、目標値を達成しているが、図書館カードの新規普及率は近年低下しているので改善を図りたい。
- 各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査においては、「関心・意欲が高まった」と回答した参加者は 77%であった。平成 25 年度より評価指標を変更し、目標値を達成している状況にある。評価指標の根拠となるアンケート調査についてもアンケート内容を十分に精査し、事業内容の改善に反映させたい。

【準備室】

- 開館に向け、工事等のスケジュール管理は適切に行えた。必要備品のリストアップを行い、発注は平成 26 年度へ先送りした。

IV 目標及び取組

	中期経営目標 (第4次長期総合計画)		短期経営目標 (平成26年度 教育行政方針)	具体的な取組・方策
	道徳心の 高揚	道徳心の高揚	「礼節」を基本とした教育を推進する。	○家庭や地域との連携を充実させ、児童生徒の心に響く道徳教育を推進する。
学校 教育	教育環境 の充実	教育活動の充実	確かな学力の向上を図る。	○学ぶ姿勢の礎を築き、家庭学習の習慣化を進める。 ○小・中学校連携を目的とする研修を実施し、指導方法の工夫、改善を進める。 ○各種学力調査の実施及び結果の分析を通して、授業改善を行う。
			いじめ・不登校対策を充実する。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進める。 ○アンケートや個別面接など児童生徒の実態把握及び関係機関の連携を進め、早期発見、早期対応に努める。
		国際理解教育の 推進	外国語活動等の充実を図る。	○英語に堪能な講師を活用し、T・Tにより児童生徒の関心、意欲を高める外国語活動、外国語科の授業を行う。 ○小・中連携を目的とする研修を実施し、中学校スタートカリキュラムをはじめ指導の工夫、改善を進める。
生涯 学習	文化活動 の振興	地域文化の保存、 継承	町史の普及・活用に取り組む。	○広報、ホームページの掲載等により情報発信の充実に努める。 ○講演及び講座等の開催により普及・活用を図ると共に、参加者に「関心・意欲」に関わる調査を実施する。
	生涯学習 ・スポー ツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供に努める。	○各地域の実情やニーズに応じた学習活動の機会の量的・質的な充実に努め自主グループ化(新規)を図る。 ○広報、ホームページ等への掲載及び関係機関との連携を図り情報発信の充実に努める。
		生涯学習環境、 生涯学習推進体制 の充実	図書館の活用の増進に努める。	○広報、ホームページ等により情報発信を行い、図書カード登録の普及・啓発を図る。 ○新着図書等の紹介コーナー、特別展示を設置すると共に読書推進講座、図書館利用講座を開催し、図書の活用促進を行う。 ○蔵書の充実、自由本棚の普及啓発、図書館利用者の自転車等駐車場の利便性の向上等を図り図書環境の充実に努める。
		生涯スポーツの 推進	生涯スポーツの普及に努める。	○各種教室の参加者に、「関心・意欲」に関わる調査を実施する。 ○坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各年齢層に応じた事業の開催及び充実に努める。 ○産学官民連携によるウォーキング事業に取り組む。
準備 室	町民交流センターの 開館準備	開館へ向けての調整・整備を推進する。	○必要な備品等を計画的に整備する。 ○開館に向けたスケジュール管理を適切に行う。	

平成26年度坂町教育委員会 自己評価表

	中期経営目標 (第4次長期総合計画)		短期経営目標 (平成26年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値		目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
						平成25年度	平成26年度	平成26年度	平成27年度		
	道徳心の高揚	道徳心の高揚	「礼節」を基本とした教育を推進する。	○家庭や地域との連携を充実させ、児童生徒の心に響く道徳教育を推進する。	道徳の時間の児童生徒意識調査	(小) 87.9% (中) 90.5%	90% (項目追加)	92%	94%		・
学校教育	教育環境の充実	教育活動の充実	確かな学力の向上を図る。	○学ぶ姿勢の礎を築き、家庭学習の習慣化を進める。 ○小・中学校連携を目的とする研修を実施し、指導方法の工夫、改善を進める。 ○各種学力調査の実施及び結果の分析を通して、授業改善を行う。	広島県「基礎・基本」定着状況調査(全国学力学習状況調査を追加)	小中とも全ての教科で県平均を上回った。	全ての教科で県平均を上回る。	全ての教科で県平均を上回り、国語、算数・数学、英語で2ポイント以上、上回る。	全ての教科で県平均を上回り、国語、算数・数学、英語で3ポイント以上、上回る。		・
			いじめ・不登校対策を充実する。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進める。 ○アンケートや個別面接など児童生徒の実態把握及び関係機関の連携を進め、早期発見、早期対応に努める。	未解決の件数(いじめ問題) 不登校の児童生徒数の割合	0件 (小) 0.51% (中) 2.03%	0件 (小) 0.25% (中) 1.50%	0件 (小) 0.50% (中) 2.00%	0件 (小) 0.40% (中) 1.70%		・
		国際理解教育の推進	外国語活動等の充実を図る。	○英語に堪能な講師を活用し、T・Tにより児童生徒の関心、意欲を高める外国語活動、外国語科の授業を行う。 ○小・中連携を目的とする研修を実施し、中学校スタートカリキュラムをはじめ指導の工夫、改善を進める。	外国語活動・外国語科の児童生徒の意識調査	(小) 91.6% (中) 84.2%	(小) 80.0% (中) 70.0% (項目追加)	(小) 90.0% (中) 80.0%	(小) 92.0% (中) 85.0%		・
生涯学習	文化活動の振興	地域文化の保存、継承	町史の普及・活用に取り組む。	○広報、ホームページの掲載等により情報発信の充実を努める。 ○講演及び講座等の開催により普及・活用を図ると共に、参加者に「関心・意欲」に関わる調査を実施する。	町史販売数	619冊	560冊	125冊	100冊		・
					坂町の歴史・文化への関心・意欲調査	—	—	70%	75%		
	生涯学習・スポーツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供に努める。	○各地域の実情やニーズに応じた学習活動の機会の量的・質的な充実を努め自主グループ化(新規)を図る。 ○広報、ホームページ等への掲載及び関係機関との連携を図り情報発信の充実を努める。	新規自主グループ数	3団体	2団体	2団体	2団体		・
		生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	図書館の活用の増進に努める。	○広報、ホームページ等により情報発信を行い、図書カード登録の普及・啓発を図る。 ○新着図書等の紹介コーナー、特別展示を設置すると共に読書推進講座、図書館利用講座を開催し、図書の活用促進を行う。 ○蔵書の充実、自由本棚の普及啓発、図書館利用者の自転車等駐車場の利便性の向上等を図り図書環境の充実を努める。	図書等貸出利用者数	21,309人	20,974人 (H24 実績値対比2%増)	21,393人 (H25 目標値対比2%増)	21,820人 (H26 目標値対比2%増)		・
	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの普及に努める。	○各種教室の参加者に、「関心・意欲」に関わる調査を実施する。 ○坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各年齢層に応じた事業の開催及び充実を努める。 ○産学官民連携によるウォーキング事業に取り組む。	各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査	77%	70%	80%	85%		・	
準備室	町民交流センターの開館準備	開館へ向けての調整・整備を推進する。	○必要な備品等を計画的に整備する。 ○開館に向けたスケジュール管理を適切に行う。	備品等発注率	0%	66%	100%	—		・	